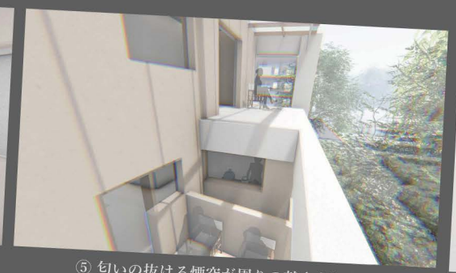
① 視線の交わりが発話のきっかけをつくる

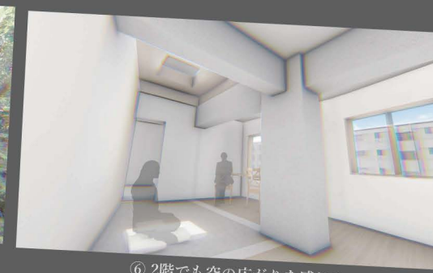
② 上を歩く人の気配を感じるメゾネット動線

③ 動線を歩く人影が写りこむスリット

④ ナナメに振った矩形の居室は既存壁を包み込む



⑤ 匂いの抜ける煙突が周りの献立を知らせる



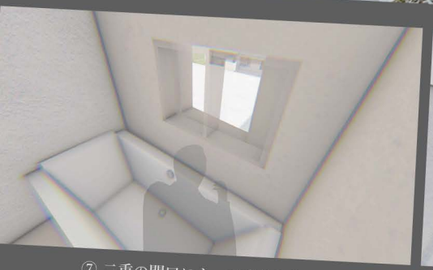
⑥ 2階でも空の広がりを感じる

偏差的日常

ズレが育むナナメの関係

偏差：「ナナメの関係をつくるズレ」

一見均質に見える団地で生じている軸線や境界のズレは
世代を超えたナナメの関係を醸成しているそのズレを建物内に取り込むことで
時代遅れのレッテルを貼られた団地を「コミュニケーションの触媒」として再解釈する



⑦ 二重の開口によって守られたお風呂

⑧ 屋上庭園に向かう人の姿が写る

⑨ 拡大した明るい階段室の賑わいと光を取り込む

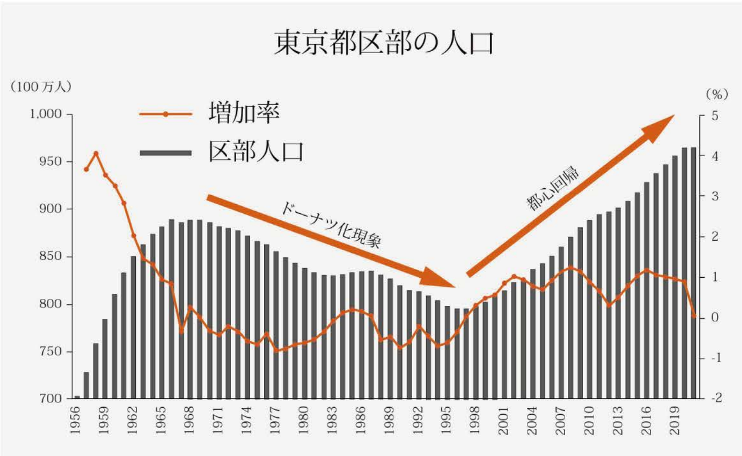
⑩ 打ち増し部の表出行為が話題をつくる

⑪ 多方向の開口から僅かに生活が伺える

⑫ 集約した自転車置き場が立ち話を触発する

01 背景 / 価値低下する中で際立つナナメの関係

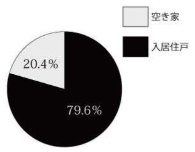
■ 郊外ベッドタウンの価値低下 / 課題



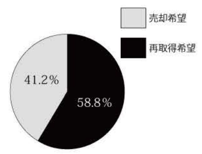
共働き化に伴う都心回帰

戦後の住宅不足により画一的に造られた団地は、耐震性や老朽化の問題に加え、多様化するライフスタイルや都心回帰が進む社会情勢によりベットタウンとしての価値が低下している。

■ 東京郊外団地の現状 / 敷地概要



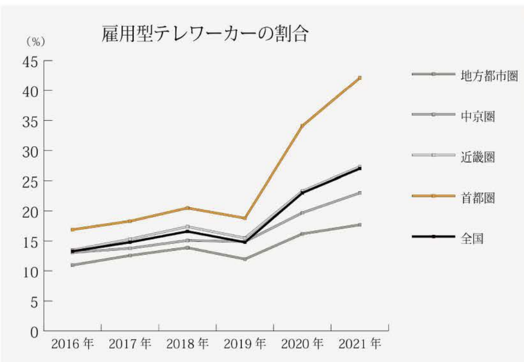
現在の入居状況



建替え後の住居取得希望

東京都府中市に位置している府中日鋼団地は。1966年に整備され、1988年より住民による管理組合が自主管理を続けている。32棟702戸の分譲住宅であり、入居住戸は559戸（79.6%）、空き家が143戸（20.4%）である（2023年10月23日時点）。また、現在建て替え事業が進行中であり、住戸の再取得を希望しているのは702戸中413戸（58.8%）である。

■ 団地で育まれるナナメの関係 / ポテンシャル



テレワークの増加

18年間過ごした団地の生活は、一つの大きな家族のようなものであった。「団地の子というだけで、近所のおじさんが親切にしてくれたり、お祭りの設営に呼ばれたり。。。」親子（タテ）でも同年代（ヨコ）でもない世代を超えたナナメの関係が、物理的なつながりが希薄化する現代社会とは対照的に団地の暮らしの特徴を際立たせている。

団地の共用空間における環境要素（ランドスケープ・工作物デザイン）の分布、

12人へのヒアリング調査・30人へのアンケート調査を通じて223のエピソードを抽出し、

団地の日常生活の中でナナメの関係を形成している微細なズレを浮彫にしていった。

001 50代女性 「グリーンディ」に同じ階段の人と一緒に階段や階段近くの植栽を整備。
002 50代男性 雪が降った時に同じ階段の人と自然と雪かきをするとき。
003 50代女性 洗濯を干しながらベランダ越しに隣の部屋の人と会話する。
004 50代女性 階段を上がる足音で誰が帰ってきたかわかる。
005 50代女性 東西方向の壁に壁当てをしていることが住棟内の人にわかる。
006 50代女性 上の会の足音で娘さんが元気か確認できる。
007 50代女性 階段ごとに回していた回覧板。コロナを機に消滅
008 50代男性 向かいのおうちの新聞入れが溜まっていたことに異変を感じ、命が救えた。
009 50代女性 近所の人と偶然出会う機会が多く、よく世間話をする
010 70代男性 階段での上り降りで足腰の強さ
011 80代男性 住戸が2戸1なので、プライバシーがありすぎるのでは、若いころはいいが。
012 80代男性 4、5階建てでエレベーターがないので、高齢者は孤立している。
013 60代女性 人々の付き合い方がべたじゃなくて良い。年齢的なこともあるかもしれないが、階段の付き合いも普通に挨拶や立ち話はするし、当番の決めごともちゃんとするが、ここもドライな関係である。
014 70代男性 欠点としては、（建物の構造上しかたのないことですが）生活騒音が響きやすいことです。
015 50代女性 顔を合わせるとよく話す。お天気のこと、こどものこと、自分の声が大きくて迷惑をかけていることなど話す（苦笑）
016 50代女性 くだものなどもらったりする
017 50代女性 SOHO事業者なので人の出入りも多く、仕事を手伝ってもらったり近所の方との交流があった。
018 50代女性 子どもが小学校の頃はカギを持たせていなかったので、家に入れなくて何度も近所の家（同じ階段の家）に上がりこんで待たせてもらった。本当に助かった。
019 20代男性 同じ棟に住む人に駐輪場などで声をかけられ、近況などを気にかけていただいたりした。
020 50代女性 グリーンディの作業中に団地生活の情報共有ができました。
021 20代女性 小学校からの幼なじみの家があり、小学生の時は頻繁に25号棟で幼なじみとお留守番をしていた。
022 50代女性 顔見知りが多く、皆で子供たちを見守っているところ。また、同じ階段で、一定の距離感は保ちながらも助け合って過ごしているところ
023 50代女性 "1階の掲示板を見るのが好きです。ここには「生活」があるのだ、と実感するからです。"
024 70代女性 高齢になってから来たが、「わたさんち」で知り合いができた。
025 70代男性 「万年青年会」（老人会）での輪投げ大会・体操・輪投げ・吹き矢。
026 50代女性 「ダンボ」（口コミ型子ども会）でママ友が増えた。
027 50代女性 「憩い」に若い人が運営を手伝いに来てくれた。
028 50代女性 委員会活動の後や広報企画室の中でおしゃべりするのが最近の楽しみ。
029 70代女性 花壇の手入れをしている時に知り合いと通りかかると立ち話をする。
030 20代男性 小学校の登下校時、花壇を手入れしている人と挨拶していた。
031 50代女性 他の家の犬に子どもが追いかけまわされたのきっかけに話すようになった。
032 50代女性 住棟前の芝生で騒いでいるとおじさんに起こられていた。
033 50代女性 ガタガタ道を一歩で歩けるようになった。
034 90代女性 ガタガタ道を一歩じゃ足りなくなってきた。
035 20代男性 小学生の頃ガタガタ道を無理やり自転車で走る。
036 50代女性 春に桜、10月に金木製、夏はセミ。
037 50代女性 中央公園のUFOの遊具に段ボールで屋根を書けておうちごっこ。
038 50代女性 建替えの会議や説明会、団地の行事でたくさんの人と知り合い交流を持つことができた。
039 50代女性 紅葉の時期に、トンネルのようになっている。木の下からみる空を見るのが楽しい。
040 50代女性 息子と遊んでいるときに子どもサークルに誘ってもらった
041 50代女性 こどもサークルを通じて友達ができた
042 50代女性 委員会やおしゃべり会の後に話をする
043 50代女性 子どものころには公園になっていて、友達とよく遊んでいた
044 50代女性 子ども時代にも子育て時代も団地内の公園を移動しながら遊んでいた。
045 50代女性 ガタガタ道が自転車が走り回らず、歩行者だけの空間になっている
046 50代男性 バーベキューをした
047 50代男性 飲み会をした
048 70代男性 夏祭りを開催した場所、その時々の出来事・人、楽しいこともそうでないことも
049 70代男性 高齢者の引きこもりをなくす目的で始めた毎月17日のカレーの為に多くの方が無償でボランティアをしてくれること、また賛同してくれることで世の中変な人ばかりじゃないと思えた。
050 70代男性 雨の日、管理事務者から30号棟まで緑の下、通路の飛び石を踏み外さないように歩いていると無心になれた。
051 70代男性 敷地が広く緑が多い、建物の形・配置がバラエティに富んでいる。
052 60代女性 通りかかる方が声をかけていただきました。
053 60代女性 四季の移り変わりが好き
054 60代女性 困っている人がいたら声をかけます
055 70代女性 子どもが小さいとき母同士の友達ができた
056 70代女性 夕べ救急車が来たけど、どこだったか、地震の話など、挨拶から始まり世間話をよくする。
057 70代女性 子どものころから花を植えるのが好きで、花を育てている
058 10代女性 雨が降った時遊んだ
059 60代女性 近隣では珍しい大きな滑り台やUFO型の遊具他、小学校の同級生が遊びに来ていた。
060 60代女性 初夏、ケヤキ並木がつくるトンネルのような通路の木漏れ日を見るとなんだかうれしくなる
061 40代男性 引っ越してきて、餅つき大会の準備手伝いをして知り合いが増えた。
062 70代男性 管理組合の役員をしていた。当時（平成24年以降）職員が欠員状態で人手が足らず、よく集会所で机と椅子を並べていた。団地に引っ越してきて、（昭和53年）2年ほどして子供ができ、休日は公園で遊ばせていました（私の仕事）当時は公園は子供であふれており、子供たち全員が事故（ケガ）をしないように気を配るのに緊張していました。
063 70代男性 大すべり台で段ボールを敷いて滑ることを息子に教えたら、子供たちが集まってきて、段ボールをせがむので、段ボールを集めるのに苦労したことです。
064 20代男性 雨が降った時、よく雨宿りに使っていた。
065 20代男性 自転車を整備するのは大体ここ。
066 20代男性 今になって夜の帰り道の内で唯一異世界感のある12号棟下の通路が好きです
067 20代男性 他の団地と違ってキレイに建物が並んでないところ
068 50代女性 団地まつりなどのイベントやそのボランティアスタッフとして主に自分よりお姉さんと多く知り合いになれた。もちろん同世代の友人もできた。
069 50代女性 保育所や小学校のママ友・パパ友と宴会をした。
070 50代女性 今はけやきが育ちすぎましたが、それでも中央公園から北側に向かって歩くのは気持ちよく感じます。
071 50代女性 風や木もれ日の感じが好きです。
072 50代女性 敷地内に大小さまざまな公園があるところ
073 50代女性 先客がいたら、少し移動して遊ぶ場を選べたので良かったです。
074 20代女性 中央公園の滑り台をダンボールを使って遊ぶ。
075 20代男性 親の準備が終わるまで良くここの木に登っていた。
076 50代女性 住民の年齢層が若かった時代は、迷路のようなつくりの団地群はワクワクできる場所だったと思うが、高齢化が進む現在は、この配置構造がかえって負担になっていると思う。集まりやすい場所が必要だと思う
077 20代男性 しだれ桜が咲き始めると春の訪れを感じる。
078 70代女性 買い物の行きかえりで知り合いにあって立ち話。
079 50代女性 「夏祭り」の準備のお手伝い参加するときは世代間で交流。50代女性
080 80代女性 団地外周の白い丸いベンチに座っている時にで通りかかる人に声をかける。80代女性
081 50代女性 空き家が増えて人の目が減ってしまったから空き巣が頻発しているのでは。50代女性
082 50代女性 外周道路は子供時代は車が通らなかったのでローラースケートで走り回っていた
083 50代女性 公園が道路から離れているので小さい子供が安心して遊べる
084 60代女性 団地以外からも子供たちが遊びに来ていていつも賑やか
085 40代女性 週2、8周ジョギングしている。信号がなく走りやすい。
086 50代女性 食べ過ぎた罪悪感でからだを動かしたい時、外周を歩くのがすき。家族と喧嘩した時も気ばらしに歩く
087 20代女性 犬を連れて散歩している人が多く、その中で3匹の犬を連れている女性の方と知り合いになった。
088 20代男性 母が良く近所の知り合いと話していたのが印象的な場所
089 20代男性 道がガクガクしているところが好き。
090 20代女性 砂場で泥団子を作った。
091 20代男性 下校時の石けりのスタート地点。
092 20代男性 雨の日に木の棒を拾って蜘蛛の巣で綿菓子をつくりここの花壇にさしていた。
093 20代男性 ここだけ建物の間が狭くて木も相まって洞窟みたいで好き。
094 20代男性 団地を通り抜けるときの近道。
095 20代男性 自転車に乗れるようになった。
096 50代女性 外出し、帰宅の途上ですずかけ公園を抜けると、「帰ってきた！」という感覚になり、「あとひと頑張りだ」と感じます。体調が良くないときなどは、その感覚を得るときが、嬉しい瞬間です。
097 50代女性 30Aによる家電製品を使うときの家族内での声のかけあい。50代女性
098 50代女性 12月に日差しが良く入ってくる。50代女性
099 60代女性 ベランダから見る月、アゲハ蝶の成長の姿、サボテンの花など
100 20代男性 自宅からも花見ができる。
101 50代女性 家の中で過ごすときも季節が感じられる。萌える頃も落葉もすてき
102 20代女性 中央公園の駐車場が猫の溜まり場になっているところ。
103 20代女性 忘れ物をした時に下から叫んでお母さんを呼び、荷物を窓から落としてもらう。
104 50代男性 自宅のベランダから朝や夕焼け時に見る富士山は素敵。電線が少々邪魔ではある。
105 50代女性 中央ひろばの藤棚にスクリーンをはって映画会をしていた。50代女性
106 90代女性 大体3階で一休みしていく。90代女性
107 50代女性 建物南側の緑の多い景色の向こうに見えるソフトバンクや高層ビルをベランダからみるのがすき。
108 50代女性 西側には富士山が見える。
109 50代女性 夏祭りのとき、屋台や花火が楽しかった
110 50代男性 子ども時代も息子の子ども時代も遊んでいた
111 50代女性 今も多くの子どもたちが遊んでいるのが好き
112 50代女性 時代によって駐輪場や駐車場ができていったが全体的な景観は変わっていないので自分にとっての故郷
113 50代男性 子どもと遊んだ
114 70代男性 正・副理事長を経験して事務所内に滞在することになった。自分勝手な人が多いことに驚いた
115 70代男性 憩いのカレーの会で知り合いができた
116 70代男性 よくバドミントンをしていた
117 70代男性 モミジ街路
118 80代男性 色々な事から個人的にお付き合いさせていただいています
119 70代男性 組合関係では憩いで、個人的には毎週水曜に「わたさんち」で毎日楽しくすごしております
120 60代女性 夏祭りに事務所仕事をしながら太鼓をたたきました。
121 60代女性 万年青年の輪投げにはまっています
122 60代女性 独居の高齢者が心配ですね
123 60代女性 一人暮らしで仕事を持っているので、ほとんど日鋼団地の人達とは交流がなかったが、建替えに参加することで知り合いが増えた
124 60代女性 憩いなどで利用することが多く、たくさんの人と知り合える
125 60代女性 団地の中央にあって利用しやすい
126 60代女性 木が多く、春の新緑、秋の紅葉が楽しめるが、歩きずらく、木々に見とれて歩いていて転倒した。
127 70代女性 24年間、2匹の犬を飼っていたので毎日朝夕散歩して団地内をあるいていた
128 40代女性 毎日外遊びをしていて虫を取ってきていた。
129 10代女性 小学生の頃、よく木登りをして遊んだ
130 10代女性 ブランコに乗って靴飛ばしをして遊んでいた。
131 10代女性 お母さんとバドミントンをした
132 80代男性 今の団地の生活をもとに、夢や勉強会が始まり、主婦の生活体験の話が新鮮で勉強になった。
133 80代男性 おしゃべり会に週一回できるだけ参加している。
134 80代男性 スーパーで買ってきたお弁当などを食べる場所。
135 80代男性 よく雑談する場所。
136 60代女性 危機管理委員会になってことで月一回の委員会、及び憩いでお話する機会ができた
137 60代女性 犬を飼っているので、朝夕の散歩のときに立ち話をしたりするが、たまに自宅に遊びに来て話すこともある
138 60代女性 中央広場は本当になにもない空間で、わたくしの子ども時代は夏に映画会があったり、息子は夏祭りに祖母も一緒に来ていたことが思い出される
139 60代女性 犬の散歩時に見る木々が青々としている所や、漂ってくる花の香り
140 20代男性 友達と遊んでいる時に友達の友達と出会った。
141 20代男性 小学生の頃に遊ぶ時は大体そこで遊んでいたから多くの思い出がある。遊具の種類が多く広さも十分な公園がここだった。大きい滑り台も魅力的だった。
142 20代男性 幼児教室に、通っている時に色々な子と出会った
143 20代男性 BBQが開催されるときに多くの知り合いと交流する機会がある
144 20代男性 ツツジの花の蜜を吸う。
145 20代男性 藤棚にぶら下がる。
146 20代男性 団地全体で鬼ごっこするときの拠点。
147 20代男性 グリーンデーのときにみんなで階段を掃除する。
148 20代男性 夏の中央通路は木のお陰で影になっていて快適。
149 10代男性 中央公園で毎日遊んでいた。
150 10代男性 鬼ごっこ、缶蹴り。
151 10代男性 荷物を車に積み込むときに便利。
152 10代男性 小中学校に通っている時は、毎日そこに集合して行っていた。
153 10代男性 義務教育を受けている間は主にそこで遊んでいた
154 10代男性 たまに友達とサッカーの練習をしている
155 10代男性 イベントが楽しい
156 10代男性 自然がすごい虫が湧きすぎている。
157 10代男性 一年生の時に遊んだ
158 10代男性 小さい頃からよく遊んでいた場所。友達がたくさんできた。一人で行くこともよくあった。
159 10代男性 学校の友達とよく遊んでいた。小学校から高校時代まで遊んでいた。
160 10代男性 自分の棟なので、下の階の人とあいさつすることが多い。
161 40代女性 お友達ができた
162 40代女性 団地内の子育てサークルで仲良くなった。
163 40代女性 夏祭り、もちつき
164 40代男性 団地の集会やイベントに参加できる場所
165 40代男性 団地内の気の合う方々と飲食しながらたわいもない話ができる
166 40代男性 四季折々を感じることができて、心が落ち着く場所
167 40代男性 気の合う人とお酒を飲む
168 40代男性 公園が古いが、それでも子供たちが集まって楽しく遊んでいる。
169 40代男性 自主管理がされていて緑も豊。
170 70代男性 団地に引っ越してきて、同世代の居住者の方と初めて話をした場所
171 70代男性 建替えサロンに中古の事務デスク、ロッカー等を安く購入しようと交渉したのがなつかしい思い出です。
172 70代男性 子どもを通じて親同士の交際が始まったこと、（子供が独立したあとも交際は続いている。）郊外型の団地として、交通の便もよく、建物が程よく分散しているので環境としては最高だと思います。
173 60代女性 子どもがよく遊んでいた
174 60代女性 建替えに関する話をする
175 60代女性 外の芝に樹木が自由に植えられている。
176 60代女性 知り合いが団地内にいた
177 20代男性 友達と遊んでいる内に公園にいた他の子どもとも遊んだ、いつも遊んでいた場所
178 20代男性 幼児教室で新しい知り合いが増えた。
179 20代男性 砂場に落とし穴をつくるときは決まってココ
180 20代男性 あらゆる木に登る
181 20代男性 夜中に中央公園の自販機にジュースを買いに行く
182 20代男性 表に出ている方しか知りませんが、高齢者が元気
183 50代女性 子どもをつれて公園にいくと子育てサークルに入れてもらえた。
184 50代女性 大きなけやきの木が好き
185 50代女性 良い距離感を保ちながら交流できて安心できている。高齢化が社会問題ではあるが、静かで住みやすい「質実」な感じも好き。
186 20代男性 開放的であり、安心・安全を感じられることで、中学のクラスなどで集まり楽しめる。
187 20代男性 小学校の頃は自転車で集合して毎日のように遊んだ。
188 20代男性 丸い植栽の中に秘密基地をつくるのが楽しみだった（小学校の頃）
189 20代男性 親がいないときに近くの家で待たせてもらった。高齢化だが、日中は子どもの声がよく聞こえる。
190 50代女性 建替え推進活動を通じて、多くの方々と知り合いました。
191 50代女性 グリーンディの作業中に団地生活の情報共有ができました。
192 50代女性 子育て期にママ友ができた
193 50代女性 子育ての悩みを気軽に相談するには「公園で遊ばせながら」が丁度良かったです。
194 50代女性 団地全体の夏祭りやおもちつき以外にも有志でのBBQが楽しかったです。
195 50代女性 子ども成長を実感できた場所（独りで柵につかまって登れるようになった。→真ん中を走って登れるようになった。など。
196 50代女性 中央公園などで昆虫を捕まえる！（子どもが幼い頃）
197 20代女性 ベランダで飼われている犬と仲良くなった。
198 50代女性 今では安全基準をクリアしていない「昭和の遊具」には懐かしい思い出がたくさんあります。
199 50代女性 団地の外側と柵で区切られているので囲われている安心感がある。
200 20代女性 小学校1年生の時に学校から帰っている時におじいちゃんに話しかけられ、仲良くなった。
201 20代女性 ダンボールを拾って滑り台で遊んだ。
202 20代女性 砂場でドーンじゃんけんぽんをして遊んだ。
203 20代女性 砂場の遊具で色鬼をして遊んだ。
204 20代女性 縄跳びの練習をした。
205 20代女性 芝生のところで鬼ごっこをした。
206 50代女性 子育て世代が集まる団地のサークルに参加して、同年代の知り合いが一気に増えた
207 50代女性 BBQ、夏まつり、もちつきなど、いろいろなイベントをこの場所で行っている
208 50代女性 中央駐車場があるところは昔は大きな広場だったので、広場から中央公園までの広い敷地で、いろいろな遊びをした。高オニ、色オニ、ローラースケート、縄跳び etc.
209 50代女性 近くの号棟の友だち10人くらいで放課後に集まって、ゴム跳び、石けり、缶けりなどをして遊んだ （小学生のころ）
210 50代女性 大きい滑り台を段ボールで滑る （小学生のころ）
211 50代女性 いろいろな場所に公園や広場があるので、その日の気分で敷地内の好きな場所に行って遊ぶことができる。
212 50代女性 子供が就園前の時期には、サークルで週1回通って新しい知り合いが出来たり、小学生の時期には帰宅後、公園の大きな滑り台や、砂場などで、いろいろな年齢の人と交流できて、新しい知り合いができました。
213 20代男性 ベランダ越しに手を振って遊んだ。
214 50代女性 自宅で友人を招いたりして一緒に食事を作って食べるなどしたりしました。
215 50代女性 友人宅で一緒に食事を作って食べるなどしたりしました。
216 50代女性 自宅の下の通りで、息子や娘とキャッチボールやバトミントンをしたことが思い出に残っています
217 50代女性 32号棟の芝生に植わっている木々が四季折々の変化を見せ、毎日眺めながら癒されていました
218 20代男性 雪が降った時は雪だるまを作ってあそんでいました。
219 50代男性 野球や、自転車の練習をしたりいろいろ思い出が。
220 50代男性 暗くなるまでよく野球をした。
221 50代男性 お父上たちとたまにBBQをしたり、打ち合わせをしたり。
222 50代男性 花壇を手入れしている方とよく挨拶をした。
223 50代女性 ご老人と小さな子供が一緒にすごしている光景。80歳越えの男性と小学生くらいの男の子が一緒に草抜きをしていて、とても心が和み、胸を打たれました。老人にも子供にも優しさを感じたからだと思います。

インタビュー回答者

No.	回答者	性別	年齢	住棟[号棟]	階数[階]	居住歴[年]	階段の位置
2	Sさん	女性	50代	23	3	45	中央通路寄り
8	Nさん	女性	70代	19	4	41	中央通路寄り
27	Kさん	女性	50代	29	3	32	どちらでもない
31	Kさん	男性	60代	24→19	2→2	27	どちらでもない
32	Hさん	男性	20代	19	2	18	どちらでもない
33	Yさん	女性	70代	9→13	2→1	16	不詳
34	Kさん	男性	70代	29	3	不詳	外周寄り
35	Hさん	女性	50代	23→19	2→2	27	どちらでもない
36	Mさん	女性	80代	29	4	50	外周寄り
37	Sさん	女性	90代	30	1	38	中央通路寄り
38	Tさん	女性	80代	15	3	不詳	中央通路寄り
39	Mさん	女性	70代	12	3	3	どちらでもない

アンケート回答者

No.	回答者	性別	年齢	住棟[号棟]	階数[階]	居住歴[年]	階段の位置
1	Yさん	女性	50代	15	4	12	どちらでもない
2	Sさん	女性	50代	23	3	45	中央通路寄り
3	Tさん	男性	50代	23	3	23	中央通路寄り
4	Sさん	男性	70代	30	1	39	外周寄り
5	Fさん	男性	70代	3	4	30	どちらでもない
6	Wさん	女性	60代	29	3	40	中央通路寄り
7	Iさん	女性	60代	22	3	31	どちらでもない
8	Nさん	女性	70代	19	4	42	中央通路寄り
9	Kさん	女性	40代	19→29	4	42	どちらでもない
10	Nさん	女性	10代	29	4	13	どちらでもない
11	Dさん	男性	80代	3	4	45	中央通路寄り
12	Tさん	女性	60代	17	1	27	どちらでもない
13	Tさん	男性	20代	23	3	23	中央通路寄り
14	Yさん	男性	10代	24	5	14	外周寄り
15	Kさん	男性	10代	24	5	15	外周寄り
16	Rさん	男性	10代	24	5	12	外周寄り
17	Sさん	男性	10代	24	5	15	外周寄り
18	Oさん	女性	40代	24	5	15	外周寄り
19	Iさん	男性	40代	19	3	7	どちらでもない
20	Kさん	男性	70代	2	3	45	外周寄り
21	Kさん	女性	60代	2	3	43	外周寄り
22	Yさん	男性	20代	24	2	24	外周寄り
23	Sさん	女性	50代	26→18	2→3	5→20	中央通路寄り
24	Aさん	男性	20代	18	3	20	中央通路寄り
25	Tさん	女性	50代	10→17	4→4	26	外周寄り
26	Hさん	女性	20代	29	3	21	どちらでもない
27	Kさん	女性	50代	29	3	32	どちらでもない
28	Sさん	女性	50代	29	4	26	外周寄り
29	Tさん	男性	50代	7	4	57	中央通路寄り
30	Mさん	女性	50代	17	5	7	どちらでもない

02 調査分析 / 日常の中のズレ

■ 私的領域のズレ

コモンスペースである中央通路に、個人の趣味が染み出していることで、交流が生まれている事例

中央通路で花を育てるＮさん

No.	回答者	性別	年齢	住棟[号棟]	階数[階]	居住歴[年]	階段の位置
8	Nさん	女性	70代	19	4	41	中央通路寄り

○入居の経緯
東芝の社宅に入っていたが、主人の上司が売るということで
職場の近くということで購入

Q. どうして中央通路で花壇をつくり始めたのですか？

A. 元々花を植えるのが好きで、最初は階段室前でひっそりとやっていたの。
手入れをしている時によく知り合いに会うと立ち話もできていいのよ。
でもある時、同じ階段の１階の人に「うるさい」苦情が入ったの。
その時に管理事務所の人にそっち（中央通路側）でやったらと言われて、、

Q. 中央通路でやるようになってどうですか？

A. 相変わらず知り合いと通りがかりに立ち話をするし
こどもの通学路になっているからあいさつするようになったの。
返してくれる子もいれば、だまーって行く子もいる。

Q. 手入れ中に出会う人数って変化しましたか？

A. 子ども（小中学生）をここ数年で減った気がする。
あと最近は、中央通路はガタガタして危ないから高齢者は通らないようにしましょうって
管理事務所がよびかけているの。それで会う人は少し減ったかもしれない。

Ｎさんが手入れしている花壇

■ 内外境界のズレ

壁厚が薄いことで、階段室の様子がプライベート空間に介入してきている事例

足音について話すＫさんとＳさん

No.	回答者	性別	年齢	住棟[号棟]	階数[階]	居住歴[年]	階段の位置
2	Sさん	女性	50代	23	3	45	中央通路寄り
27	Kさん	女性	50代	29	3	32	どちらでもない

○入居の経緯　Ｓさん
団地で生まれ育った。
9-11 歳は父親の転勤で英国に
25-34 歳は父親が定年退職のため父親側の実家へ
34 歳のとき、結婚生活をしていた兄が今の家に
住んでいたが一軒家を購入し、
部屋が空くということで、旦那さんと引っ越した。
以後団地生活

○入居の経緯　Ｋさん
団地で生まれ育った。
10 歳で、親が手狭に感じて千葉のマンションに引っ越す
30 歳で結婚するタイミングで 1 度賃貸にしていた部屋が
空いていたので帰ってきた
以後団地生活

Q団地以外に住んでいたときといまの人との付き合い方に違いは？

Ｋさん｜前はマンションに住んでいた。顔見知りはいるけど、距離は遠い印象。
団地はベランダにでるとご近所さんもでていて、おしゃべりする。

Ｓさん｜ベランダ越しにおしゃべりしたわ「いいお天気ですね～」って。
共用廊下やエレベーターであった時にそこで親しくなるのかって。

Ｋさん｜嫌な人もいるんだろうけど、遅い時間に階段上がる音を聞いて
「こんな時間までお仕事してんのか～」「遅くまで学校か～」

Ｋさん｜階段の足音で誰かわかる。これうちの旦那だ～とか。

Ｓさん｜旦那の足音わかる～。

Ｋさん｜あとは「上の階の娘さんがとんでるな」とか

Ｓさん｜それはＴちゃん（娘の名前）知ってるから。
うちの上の家、今シェアハウスで、シングルの親子とかくる。
そういう人たちって挨拶に来ない。
それで騒がしいと旦那は「まったく、、」ってなる。

Ｓさん｜コニュニティがあるから楽しめるんだろうね。

Ｓさんが住む部屋の階段

■ 住棟配置のズレ

エピソードを地図上にプロットしたところ、建物外では住棟配置の軸線がずれている部分を中心として多くのエピソードが集められた。一方で、建物内に関しては階段室周りの話題が多かった。

000 ：建物外のエピソード例

076 50代女性　住民の年齢層が若かった時代は、迷路のようなつくりの団地群はワクワクできる場所だったと思うが、高齢化が進む現在は、この配置構造がかえって負担になっていると思う。

066 20代男性　今になって夜の帰り道の内で唯一異世界感のある12号棟下の通路が好きです

067 20代男性　他の団地と違ってキレイに建物が並んでないところ

093 20代女性　ここだけ建物の間が狭くて木も相まって洞窟みたいで好き。

000 ：建物内のエピソード例

004 50代女性　階段を上がる足音で誰か帰ってきたかわかる。

008 50代男性　向かいのおうちの新聞入れが溜まっていたことに異変を感じ、命が救えた。

境界認識のズレ（ポテンシャル）　×　軸線のズレ（機会）

＝ズレがナナメの関係を築くポテンシャルと機会を生んでいる

03 設計手法 / ナナメの関係をつくるズレ

本提案では、著者の実家である 19 号棟と
その周辺を改修対象とする。

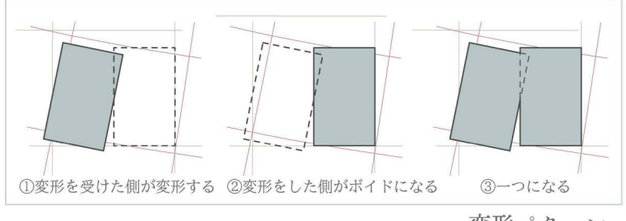
■ 形態操作の流れ

① 周囲のエピソードや自身の記憶から偏差を図式化し、
既存のグリットを歪ませるガイドとした。

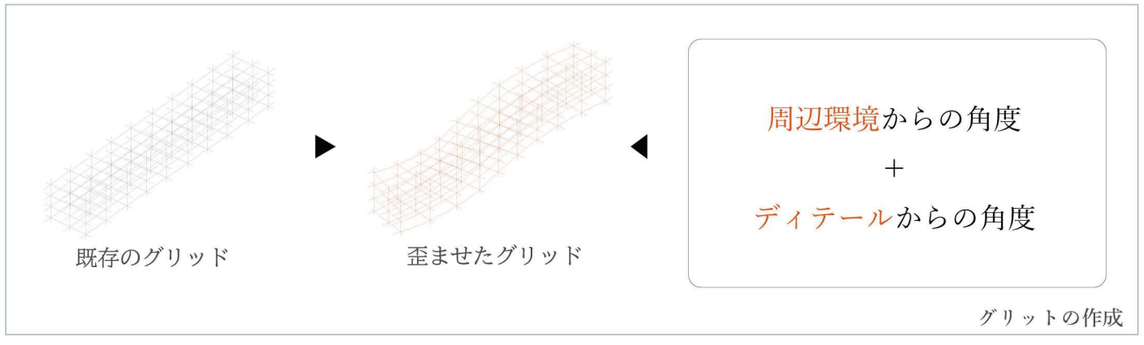
② それぞれの部屋で起こすべき現象を考慮しながら歪ませる角度を決定。

③ 歪ませたグリッドに合わせて既存のボリュームの一部を変形させていった。
変形したボリュームは既存の矩形との間で衝突し、
ボイドになったり、一体となったりする。

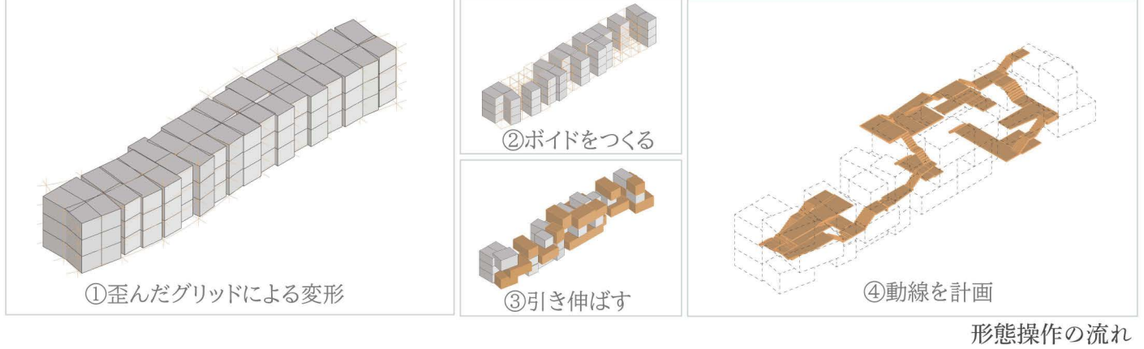
④ 矩形を維持したままボリュームを水平方向と鉛直方向に引き延ばし、
視線が交錯するように動線を設定。



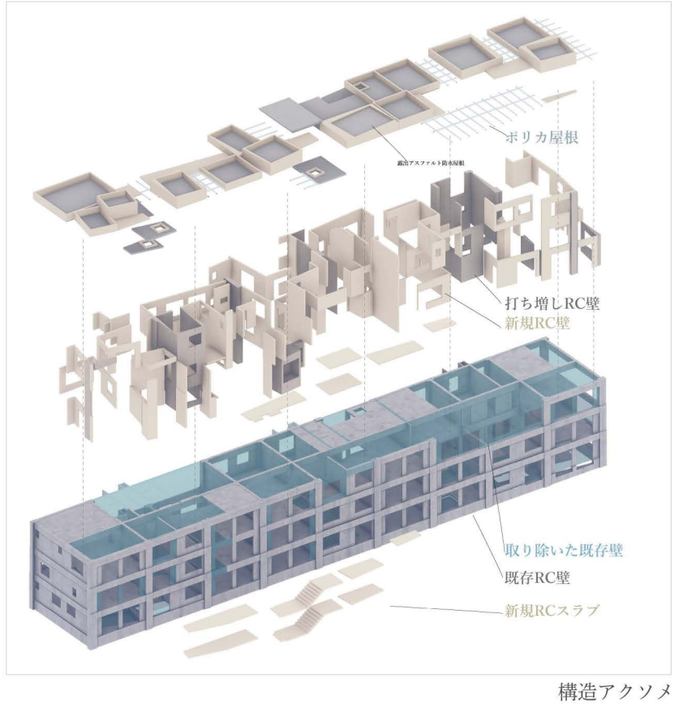
変形パターン



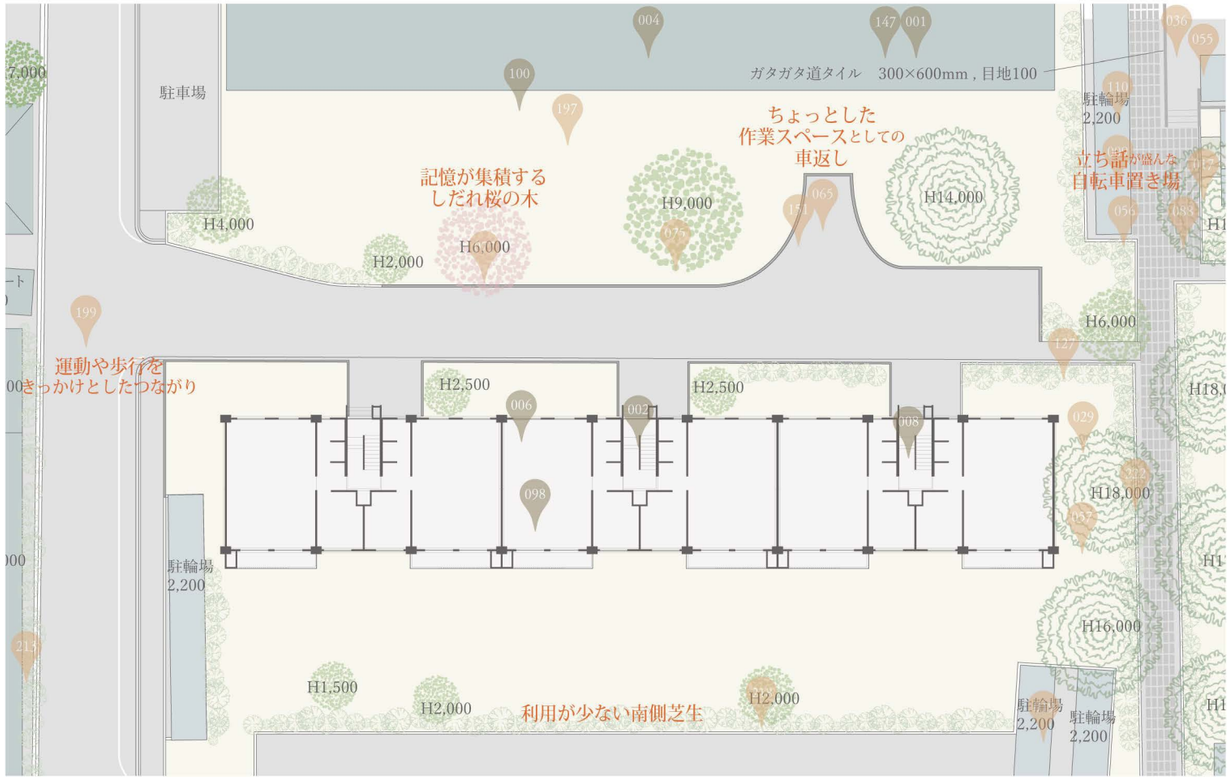
グリットの作成



形態操作の流れ

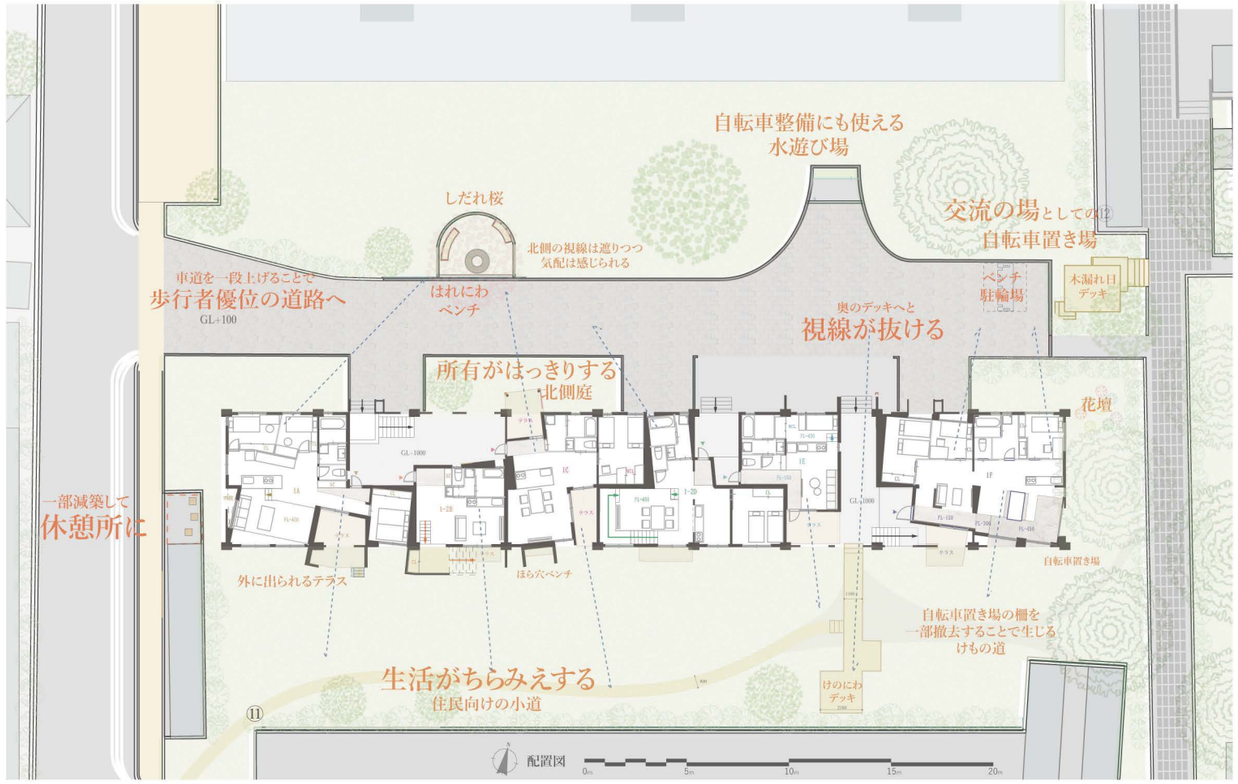


構造アクソメ



：建物内のエピソード　：建物外のエピソード

既存配置図

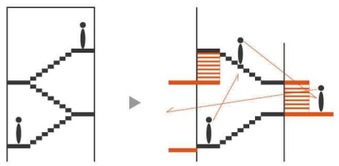


改修配置図

04 提案 / 偏差的日常

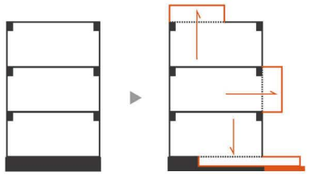
■ 偏差を生む 6 つの操作

コミュニケーションの機会を増やす操作（直接コミュニケーション）



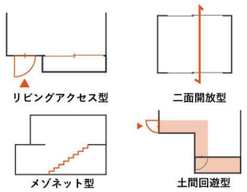
① 階段室の立体街路化

階段室動線を立体街路化することで、団欒するたまり場やその活動の視点場を生むと共に、地面と連続する経路を作り出す。



② フロアの重層化

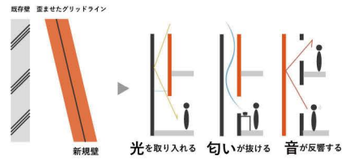
1 階は床を掘り下げて地面との関係を強め、最上階は天井高を上げる・トップライトを取り込むなど、階層ごとに性格を変化させる。



③ 各住戸の差別化

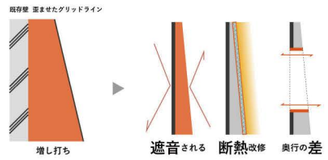
既存の LDK 型に加えて、リビングアクセス型、2 面開放型、メゾネット型、土間回遊型などに組み替えることで、各住戸の周りの関係を多角化する。

コミュニケーションのポテンシャルを増やす操作（間接コミュニケーション）



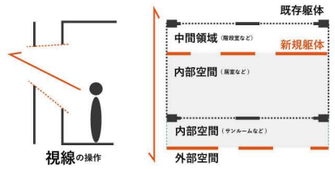
④ ナナメ壁の挿入

歪ませたグリッドを基準に新規の壁を挿入することで、既存壁との間にズレが生じ、光庭になったり、匂いの抜ける煙突になったりする。



⑤ ナナメに増し打ち

歪ませたグリッドを基準に既存壁を増し打ちすることで、遮音された部屋が生まれると共に、開口部によって、外との距離認識が連続的に変化する。

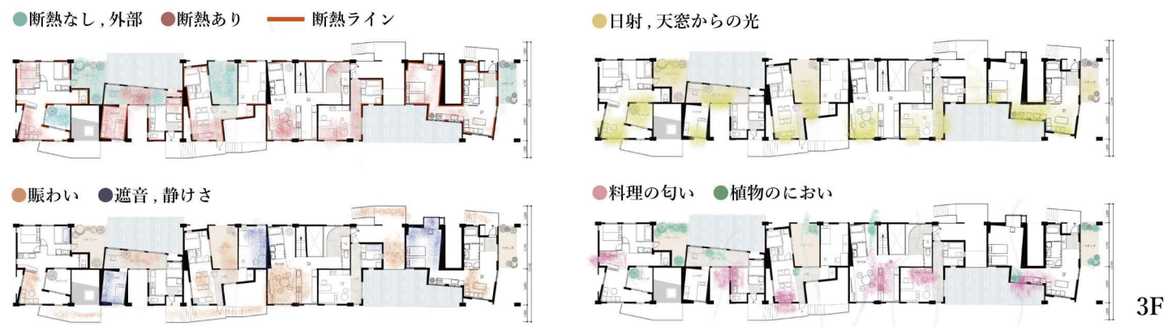


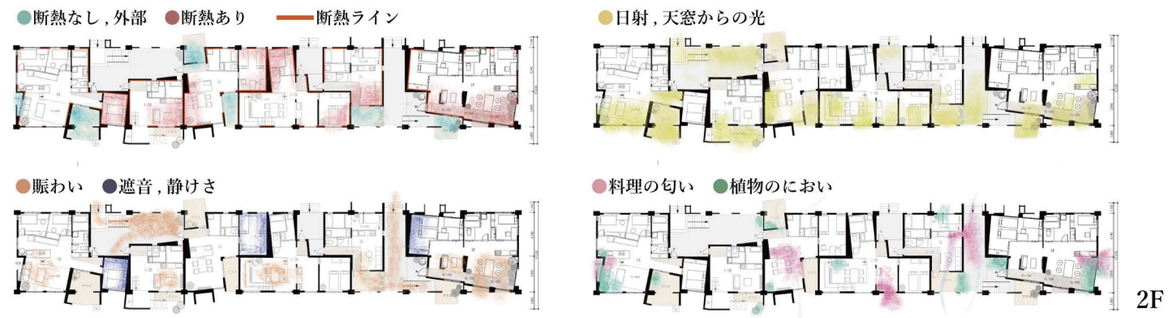
⑥ 開口の複層化

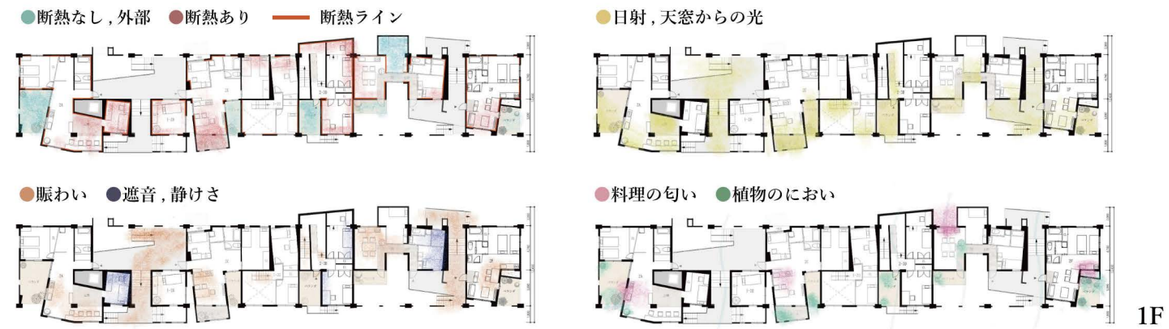
既存壁と新規壁の開口が複層することで、視線のガイドになり、内外境界が変化することで、中間領域の内部空間が拡張される。

■：既存躯体　■：新規躯体（新規壁 / 増し打ち）　▨：断熱ライン　■：木板仕上げ（既存開口を塞ぐ部分に使用）

各階平面図 S=1/300







環境図

僅かなズレが他者との距離感に影響を与え
偏差的な日常が育まれる

団地はコミュニケーションの触媒として
人々の関係を活性化し続けていく